

九条を守る阿賀野の会

ニュース No. 3(5/08/10)

連絡先・稲垣 恵造
阿賀野市中島町11-28
電話・62-5203



二月から準備を重ねてきた九条を守る阿賀野の会の結成総会は、七月十日水原保健センターで開かれ、百八十五人の賛同者の皆さんが参加しました。

総会では、冒頭、呼びかけ人を代表して、渡辺勇元県議が九条を守る阿賀野の会「の結成を呼びかけるあいさつを行いました。

すべに、三十人編成の阿賀野ウインドオーケストラが、九条の会の活動の中で岐阜高山で生まれた新しい歌である「スマイル」や「サンライズマーチ」などを演奏しました。

結成総会終る

その後、結成準備会事務局から賛同者が四百人を超えたことの紹介があり、参加者全員の拍手で九条を守る阿賀野の会「の結成を確認しました。また、憲法改悪反対の有権者過半数署名をめざす会の申し合わせや役員体制を承認しました。

会は、つづいて、呼びかけ人の一人吉川正夫元水原町長の戦争体験を語る講演とつづき、最後に、弁護士九条の会にいがた「の金子修弁護士の講演があり、会は終わりました。

参加者から結成確認の拍手をしながら涙が出てきた」という感想が寄せられました。

多くの人が心を寄せて、結成されました。

憲法「九条を守る阿賀野の会」

「拍手して泣いて涙が出ました」

◆感動を呼んだ呼びかけ人あいさつ「待ちに待った結成」

呼びかけ人を代表して、渡辺勇元県議は、「若いころ、軍隊に行き天皇のために死ぬことが道徳だった時代を経て、新しい憲法に接したとき、崇高な理想に感動して身が震えたことを覚えている。世界に誇れる九条の中に、人間の理想、哲学、生き方がたくさん詰まっている。会の結成が全国に誇れるものにしよう」とあいさつしました。



吉川正夫元町長は、「軍隊にいたとき、自分は運よく任務の変更で三度命が助かったが、命令のまま戦地に行った仲間たちは全滅してしまった。戦争は絶対にやっちはいけない。そのために（九条を守る阿賀野の会）の一員として憲法を守りぬく立場で全力を尽くす」と決意を表明しました。

かって町長選挙を戦ったことのあるお二人が、立場を超えて、共に壇上に立ち、「平和を守り、憲法を守ろう」と訴えたことに、参加者は感動し大きな拍手をお二人に送りました。

寄せられた感想文には、「待ちに待った結成。子や孫に九条を残さなければ」と書かれていました。

「九条を守る阿賀野の会」結成！呼びかけ人氏名は2面に紹介しています。